

救いを託されている。



日本赤十字社の活動資金へのご協力をお願いします。

メモ欄

.....
.....
.....
.....

日赤 あいち



救うを 託されている。



赤十字活動資金の流れ

皆さまからの活動資金のご協力は
日本赤十字社の事業に
大切に使用させていただきます



あなた



日本赤十字社

日本赤十字社愛知県支部の主な事業

1

災害救護活動

いつ、どこで発生するか予測ができない自然災害や航空機事故などの人為災害。迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定の実地訓練を重ねると同時に、災害時に必要な資機材を配備、救援物資の備蓄をしています。



2

救急法などの講習

緊急時の手当や事故防止に必要な知識技術を学ぶ4つの講習会を県内各地で開催するほか、学校、PTA、会社、町内会や自主防災組織など団体からのご依頼に合わせた講習にボランティア指導員を派遣しています。またコロナ禍の中、オンライン環境での講習も開催し、継続的な普及を行います。

令和4年度の
愛知県での
講習普及計画

種類	受講者数
救急法	577回 21,608人
水上安全法	157回 9,162人
健康生活支援講習	255回 11,948人
幼児安全法	330回 9,738人
合計	52,456人



3

国際活動

世界の192の国と地域に世界的ネットワークをもつ人道支援機関として、災害や病気で苦しんでいる人を救うため、救援活動や保健衛生環境の改善を行っています。また、現地で活動できるように「国際救援・開発協力要員」となる人材を育成しています。



6

医療事業

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一・第二病院の両病院では、地域の中核的な病院の役割を果たすほか、国内外の災害時には医師や看護師を派遣します。また、コロナ禍では両病院において、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行い、地域の医療体制の確保に努めました。



皆さまからご協力いただいた活動資金は、上記の事業以外に広報活動、市町村

事業における3つの重点分野

災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・学生に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。



子どもと子育て世代の支援

子どもに起こりやすい事故に対する手当の方法などを学ぶ講習の普及を通じて、子ども・子育て世代の方々に支援します。オンラインを活用して子育て中の方が受講しやすい講習も用意しています。



多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を実施し、自助力や地域の共助力の向上を図っています。さらに、講習を通じて外国にルーツのある方の子育て・介護分野での支援を推進していきます。



4 青少年赤十字

今年で100周年を迎える青少年赤十字は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、県内1090以上の加盟校で学校教育を通して世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成に取り組んでいます。



ぼうさいまちがいがさしきけんはっけん!



いえまですごらく



5 赤十字ボランティア

赤十字の活動は多くのボランティアに支えられています。地域に根差した活動を行う「地域赤十字奉仕団」特技を生かした「特殊赤十字奉仕団」、若者を中心とした「青年赤十字奉仕団」が活躍しています。



愛知県内赤十字奉仕団員数

地域奉仕団	18,058人
特殊奉仕団	1,339人
青年赤十字奉仕団	254人

(令和3年4月現在)



7 血液事業



愛知県赤十字血液センターではコロナ禍において協力者が減少するなか、病気やけがで輸血を必要とする方々のため、広く献血についての理解を求め、多くの方のご協力をお願いし、安全な血液を安定的に医療機関へ届けています。

8 看護師養成



日本赤十字豊田看護大学では、赤十字の人道の理念のもと、最先端の看護知識・技術を身に付け広く社会に貢献できる赤十字看護師を養成しています。

9 社会福祉



社会的支援を必要とする人々のために、状況に応じた支援活動を実施しています。特に令和3年には児童養護施設等へのコロナ対策事業を実施しました。また、地域の保健衛生向上に寄与するために赤十字健康教室を行っています。

ごあいさつ

日頃は、赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日常生活の制約をはじめ社会経済活動に甚大な影響をもたらしています。

日本赤十字社では、医療機関での新型コロナ感染症患者の受け入れをはじめ、感染症による差別や偏見などの人道課題への対応に努めてまいりました。

また災害が発生した際に迅速な対応ができるよう備えをするとともに、救急法等の講習普及、青少年赤十字・赤十字ボランティアの育成、医療・血液事業など、コロナ禍においても地域の方々のいのちと健康、尊厳を守る活動の充実に努めております。

これらの活動は皆さまからの継続的な活動資金のご協力により支えられております。今後も、より一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



日本赤十字社愛知県支部
支部長

大村秀孝

令和4年度予算概要



お寄せいただく資金で上記のような活動を
予定しています。

歳入

内 訳	予算額	割合
社資収入（活動資金のご協力）	1,102,000,000円	90.1%
補助金及び交付金収入	8,530,000円	0.7%
繰入金収入・資産収入・雑収入	22,221,000円	1.8%
前年度繰越金	90,784,000円	7.4%
合計	1,223,535,000円	100.0%

歳出

内 訳	予算額	割合
① 災害救護事業と救護看護士の養成に	371,910,000円	30.4%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	54,609,000円	4.5%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	53,262,000円	4.4%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	50,011,000円	4.1%
⑤ 社会福祉事業などに	11,599,000円	0.9%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,051,000円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,684,000円	0.9%
⑧ 広報・活動資金募集のために	106,197,000円	8.7%
⑨ 赤十字病院救急医療体制の整備に*	150,007,000円	12.2%
⑩ 市町村における赤十字活動に	121,400,000円	9.9%
⑪ 全国的な赤十字活動に	120,150,000円	9.8%
⑫ 支部の運営に	168,655,000円	13.8%
合計	1,223,535,000円	100.0%

*使途が指定された活動資金による事業を含みます。

活動資金のご協力方法



地域でのご協力



チャリティイベントでのご協力



遺言や相続財産によるご協力



企業でのご協力

※地域でのご協力をご依頼しているほか、ダイレクトメールなど年間を通じて活動資金協力のお願いが重複する場合がございますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取り扱い

日本赤十字社（本社及び都道府県支部）は、会費（社費）、寄付金（「海外たすけあい」を含む）、海外救援金、国内災害義援金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

〒461-8561
名古屋市中区白壁1-50
TEL (052) 971-1591

日赤 あいち

検索

